

# 環境

ECO MAGAZINE

No.  
331



岡山発 エコツーリズム  
冬の大自然を歩いて味わう  
スノーシューで歩く、雪の蒜山

教えて! 推進員  
“もったいない”を暮らしに広めよう

NEXT STEP  
岡山大豆俱楽部  
大豆収穫体験活動で地産地消の大切さを体感

古き良きエコのはなし  
「風呂敷」

財団法人  
岡山県環境保全事業団

## ●巻頭特集 楽しい、おいしい、あったかい、 冬の約束

●インタビュー  
全国地球温暖化防止活動推進センター  
代表 大木 浩氏

岡山県環境保全事業団・仕事file  
水の健康を的確にチェック!  
分析測定課



## INFORMATION

Event 素敵な講師を迎えてセミナーを開催!!

### 京都議定書発効記念セミナー開催

主催:(財)岡山県環境保全事業団、  
岡山県地球温暖化防止活動推進センター

各国の温室効果ガス排出量削減の数値目標などを定めた京都議定書の第1約束期間(2008年~2012年)に入りました。今回は、地球温暖化をテーマに、アルピニスト・野口健氏と、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の島田政信氏に、地球環境や宇宙から見た地球の変化について講演していただきます。

日 時 平成20年2月15日(金)  
13:30~17:00(開場13:00)

場 所 山陽新聞社 さん太ホール  
(岡山市柳町2-1-1 TEL.086-803-8222)

入場無料  
定員300名  
(先着申し込み順)

必ず事前申し込みが必要です

講演① 13:35~14:50(約75分)

#### 陸域観測技術衛星「だいち」が見た 地球表情の変化

講師:  
JAXA地球観測研究センター 島田 政信 氏

世界最大の地上観測衛星「だいち」からの映像を島田政信氏がわかりやすく解説とともに、現在、地球上で起きている変化について語ります。



講演② 15:00~16:45(約105分)

#### 地球温暖化 ~野口健が見た世界~

講師:アルピニスト 野口 健 氏

史上最年少で7大陸の最高峰を制覇した野口健氏が様々な国の現場を見て感じた「地球温暖化」について熱く語ります。



【お問い合わせ・お申し込み】

財団法人 岡山県環境保全事業団 環境学習センター アスエコ

〒700-0907 岡山市下石井2丁目2-10

TEL.086-224-7272 FAX.086-224-7273

E-mail:stopco2@kankyo.or.jp 開館時間:午前10時~午後6時

(午後1時~2時は昼休み) 休館:日曜、祝祭日、年末年始

Event 環境学習センターからイベントのご案内

Let's Try!  
「布ぞうりを編みましょう!」

日時 平成20年2月23日  
13:00~16:00

対象 15名  
親子(小学4年生以上)、一般  
※小さなお子様連れの方は参加できません。

準備 使わなくなったシーツ、  
タオルなど

広告紙が大変身!  
「つく~る教室♪」

日時 平成20年2月16日、3月1日  
10:00~12:00

対象 20名  
親子(小学生)、一般



楽しく学んでおいしく食べよう  
「エコ・クッキング」

日時 平成20年3月8日  
10:00~13:00

対象 20名  
親子(小学4年生以上)、一般  
※小さなお子様連れの方は参加できません。

費用 1人500円(材料費)



ステキな香りでさぞう  
「バレンタイン・  
アロマキャンドル作り」

日時 平成20年2月2日、2月9日  
10:30~12:00

対象 20名 親子(小学生)、一般

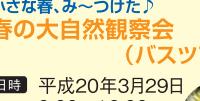
協力:岡山ガス

世界でひとつ  
「My箸&箸袋」を作ろう!

日時 平成20年3月15日、3月22日  
10:00~12:00

対象 20名 親子(小学生)、一般

費用 1人500円(材料費)

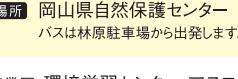


小さな春、み~つけたり  
春の大自然観察会  
(バスツアー)

日時 平成20年3月29日  
9:00~16:00

対象 40名  
親子(小学生以上)、一般

場所 岡山県自然保護センター  
バスは林原駐車場から出発します。



【お問い合わせ・お申し込み】岡山県環境保全事業団 環境学習センター アスエコ

Event 自然保護センターから里山観察会のご案内

里山の鳥

内容 留鳥・冬鳥の観察 申込 平成20年2月1日(金)

~2月25日(月)

日時 平成20年3月2日(日)  
10:00~15:00

【お問い合わせ・お申し込み】岡山県自然保護センター

TEL.0869-88-1190 FAX.0869-88-1195 休館:毎週火曜、祝日の翌日



# 環境

ECO MAGAZINE

発行日 平成20年1月31日  
発行所 財団法人岡山県環境保全事業団  
〒701-0212 岡山市内尾665-1  
TEL 086-298-2122 (代)  
FAX 086-298-2496  
<http://www.kankyo.or.jp/>

今年から各々の温室効果ガス排出量削減の数値目標を定めた京都議定書の第1約定期間が始まりました。日本では1990年を基準年として温室効果ガスを6%削減する目標に向けて対策を迫られています。目標達成は非常に厳しい状況の中、私たちひとりひとりに温暖化防止に向けた行動を起こすことが求められています。是非、今回の特集を参考に、楽しく、美味しく、そして無理なく行動してみてはいかがでしょうか?(山田)

お便り募集 !!

ご意見・ご感想・あなたのエコアイデアなどを募集しています。送り先は、[stopco2@kankyo.or.jp](mailto:stopco2@kankyo.or.jp)まで。



R100  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

編集後記

WARM BIZで  
うちエコ!

# 地球にも“おいしい”エコ鍋。

木枯らしの吹く寒い冬は、皆で集まってあつあつの鍋をつつこう。  
皆でわいわい楽しく食べれば、いつの間にか寒さも和らいで、心までほぐれてきます。

Food

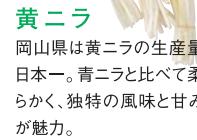


## かき

瀬戸内海で養殖されるかきは、身が大きくて旨い。その日に水揚げしたもののが手に入りやすいから新鮮!



岡山産



黄ニラ

岡山県は黄ニラの生産量日本一。青ニラと比べて柔らかく、独特の風味と甘みが魅力。



## 「身体を温める冬の食材」

### 辛味野菜で一人二役

ねぎのアリシンや、ショウガのジンゲン、大根などは、土中の養分をそのまま含んでミネラルが豊富です。ミネラルはタンパク質をエネルギーに替えてくれるので体を温める効果があり、冷え性の方におすすめ。じゃがいもはフランズで「大地のりんご」と呼ばれるほどビタミン類も豊富。冷え性に効果があるビタミンCをでんぶんが包んでいるので、熱しても壊れにくく、茹でも安心です。



巻頭特集 地球と私にうれしいこと、はじめる冬。

# 楽しい、おいしい、あったかい、冬の約束。

体も心も温もりに包まれる、冬のエコライフ

空気も凍る寒い冬の到来です。外出から帰ってきた直後は部屋の中も寒く、ついで暖房やヒーターに頼つてしまいがち。けれど、部屋の中が暖かくなると同時に、地球も一緒に“あたたかく”していることをお忘れなく。暖房を全く使わないように、といふことではなく、「工夫をして上手に使うことが大事なのです」。

例えば、部屋の中に暖氣がすみず今まで行き渡るよう扇風機を活用したり、それぞれが個室で過ごすのではなく一つの部屋に集まって会話を楽しんだり。それだけでエネルギー消費量は大幅に削減できます。

寒い冬の夜を楽しむのが、冬の野菜をたっぷり使った鍋。地元で採れた新鮮な野菜を使った鍋を、家族や仲間同士で囲みましょう。鍋料理は体の内側から温めてくれるだけでなく、楽しいだんらんの時間に心までぽかぽかになります。

暖房やヒーターでは得られない温もりに包まれて、冬を楽しく乗り切ってみませんか?



体感温度  
+2.2°C

フォーマルな重ね着で。  
ウールのニットを一枚プラス。  
カーディガンやジップアップタイ  
プなら、座った時に開け方を調  
整できるので窮屈になりません。



首周りの保温に。  
セーターは、Vネックよりもタート  
ルネックを。体の中心である首  
周りを温めれば、体感温度がぐ  
んと上がります。

足下の冷えを予防。  
下半身の冷えを解してくれる  
ひざ掛け。サッカーや野球の  
観戦用の「スポーツひざ掛け」  
などは、男性も取り入れやすい。

体感温度  
+2.5°C



気軽に体温調節。  
ストールは、手軽に体温の調  
節ができる優れもの。素材や  
色柄を暖色系にすれば、見た  
目にもあったかい。

通勤時の必需品。  
外気に触れるところをできるだ  
け少なくするために、マフラーや  
手袋は必須アイテム。暑くなれ  
ば外して、手軽に体温調節を。

お尻の保温も大事。  
毛足の長い座布団なら、腰周  
りからくる冷えの予防に効果的。  
ひざ掛けとあわせて気軽に取  
り入れられる。



## あったかお仕事スタイル。

仕事の邪魔にならない、使いやすい小物で寒さ対策。

ストレスにもなる寒さを取り除けば、集中力もアップして仕事の効率も上がります。

### 「機能性アンダーウェアをかしこく活用」

防寒用の下着を着たら、着ぶくれしてしまう…。いいえ、最近は薄いものが多く、保温性だけでなく吸湿、発熱素材など機能性に優れた肌着も開発されています。

半袖肌着の場合と、長袖肌着にズボン下を着用した場合では、体感温度が0.9°Cアップ。服の袖の長さによって七分袖を合わせたり、フィット感のあるものを選べば、動作の妨げにもなりません。



足とお腹をしっかり保温。  
スカートの時はもちろん、ズボ  
ンの時もタイツを履けば、足下  
をしっかり保温できる。薄手の  
腹巻も女性の強い味方!

体感温度  
+0.9°C



## Under wear

オン・オフどちらでも。  
着ぶくれ知らずの機能性下着。  
おしゃれな着こなしを助けてく  
れるので、ビジネスシーンだけ  
でなく、オフタイムにも大活躍。

肩や背中が寒い時は。  
マントのように羽織るポンチョは、  
カーディガンより動きやすい。  
軽いフリース素材なら、着てい  
ることを忘れてしまうかも。

体感温度  
+2.2°C

体感温度  
+1.5  
~2.3°C

全身を包む。  
外で着るならコート。家で着る  
なら軽くて着心地のいい、綿入  
りやキルトガウンを。全身を包  
んで家でもあったか。

冷たい廊下もこれなら。  
かかとやくるぶしまですっぽりと  
履き込むルームシューズはス  
リッパよりも断然暖かい。靴下  
とあわせて冷気をシャットアウト。

足元をしっかり保温。  
冷えを感じるひざから下をレッ  
グウォーマーや長い靴下でし  
っかり保温。起毛ややわらかい  
素材を選んで、ゆったりと履こう。

体感温度  
+0.6°C

体感温度  
+0.6°C



## ぬくぬくおうちスタイル。

暖房やヒーターにばかり頼らず、重ね着などをして体をくるんであげましょう。  
手足の先まで、厚手の素材で丁寧に包んであげれば、自然と心もリラックスしてくるはず。

### 「みかんのコンポートティー」



\*材料(1杯分)

紅茶…小さじ1 みかん…1個 水…1/2カップ  
熱湯…1カップ 砂糖…大さじ3

\*作り方

- 1 みかんは皮をむき、輪切りにする。
- 2 鍋に1と砂糖、分量の水を入れ、アルミホイルなどで落とし蓋をして弱めの中火で5分ほど煮る。
- 3 ティーポットに茶葉を入れ、熱湯を注ぎ2分ほど蒸らす。
- 4 カップに2のコンポートとシロップを適量入れて、紅茶を注げば出来上がり。

ぬくぬくルームウェアで。  
フリースやペロア素材のルーム  
ウェアに着替えよう。保温性が  
高い上に軽くて動きやすいので、  
冬でのびのびくつろぎ気分。

体の中から温める。  
体の芯からあったまりたい時は  
ホットドリンクが効果的。みか  
んなどの柑橘類の香りは、リラ  
ックス効果も得られる。

ミニ毛布にくるまれて。  
もう一枚ほしいという時に重宝  
するブランケット。ひざにも肩  
にも掛けられるから、寒さを感じ  
るところをくるもう。





# 「京都会議後十年を経て」

全国地球温暖化防止活動推進センター  
代表 大木 浩氏

## 地球温暖化の原因と

### 防止活動の必要性が明確になつた十年

地球温暖化防止の国際取極めを作るため  
に京都で会議が開かれてから丁度十年が経過しました。京都議定書と名づけられたこの国際取極めは途中でブッシュ政権の米国が離脱したりして糾余曲折がありましたが、やつと二〇〇五年二月に発効に漕ぎつけました。

他方地球温暖化という現象は確実に進行しており、しかもその主な原因は人間の社会経済活動によって大気中に放出される二酸化ガスなど、いわゆる温室効果ガスの蓄積によるものであることが、最近一段と明確になつきました。世界の科学者を集めた気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が最近六年振りに公表した第四次評価報告書は、右のような事実についての懷疑論に、事実上終止符を打つたものと受けとめられています。

IPCCが本年のノーベル平和賞を受賞することになったのも、第四次報告書の科学的信頼性の高さを示すと共に、地球温暖化の防止が人類全体の平和と安全にとって不可

欠の条件である証左と云えましょう。

実は既にこの数年間、地球温暖化問題は国際社会の重要な課題として取上げられ、その防止のための今後の枠組み作りについて

交渉が行われてきました。本年夏ドイツのハイリゲンダムで行われたG8主要国会議では、メルケル独首相の強いリーダーシップによって温暖化防止が主要国の共通責任であることが確認され、また京都議定書以後の温暖化防止対策を練り上げるための協議の場を早急に作り上げることが合意されました。

その後九月の国連総会などの議論を経て、十二月三日から十五日までインドネシアのバリ島で国連の気候変動枠組み条約第十三回締約国会議が開かれました。この枠組み条約は京都議定書の親条約とも云うべき国際取極めであり、京都会議は第3回締約国会議でしたから、いつの間にか十年の時が流れたという訳です。

国によつて異なる  
温室効果ガス削減に対する姿勢

バリ島会議では、本年から対象期間が始まることになつたのも、第四次報告書の科学的信頼性の高さを示すと共に、地球温暖化の防止が人類全体の平和と安全にとって不可

る京都議定書の実施・運用について具体的な態

様や細則を決めると同時に、アフター京都の時期について、温暖化防止の枠組み作りのための交渉方式を固めることが大切な議題でした。

実はこの交渉方式については、先進国の人間でも、温室効果ガス削減を各國の義務として出来るだけ明確に定めて早急に実行に移そうというECのような国々と、そもそも削減の数量を義務として定めることには反対とう米国のような国との対立があつて中々歩み寄りがみられませんでした。

又交渉を始める時期についても、京都議定書の実施とポスト京都の実施計画との間に空白期間を生じないように、交渉はなるべく早くスタートさせるべしと主張するEU諸国と、交渉の早期開始が途上国による削減の開始を早める結果となることを嫌う中国、インド等との対立となつて、容易に合意に達しませんでした。

このような諸外国の意見分裂の中で、日本としてはどのような態度を取るべきか、いろいろと意見はありました。京都議定書とポスト京都の対策との間に空白を生じさせべきでないといふ点では、日本多くの参加国特に大部分の



プロフィール  
参議院議員、国務大臣（環境庁長官）として京都で開催されたCOP3の議長をつとめる。その後、衆議院議員（環境大臣）を経て平成16年から現職。

## 温暖化防止を牽引する国・日本として、 早急に対策と行動を

先進国に同調する態度をとつきました。

しかしポスト京都へ向けての温室効果ガス排出削減についても現段階で中長期的な数值目標を定め、それに向つて具体的な方策を策定すべきだという点については、日本として反対の態度をとりました。

**二枚重ねの保温術。**  
床まで届く長いカーテンで、外気の侵入を防ごう。厚手のカーテンを更に二重にすれば、冷たい空気を大幅にカットできる。

**カーペットの下には。**  
カーペットの下に断熱シートなどを敷くと、床下へ逃げていく部屋の熱をとどめておくことができる。新聞紙でも効果的。

断熱シートを  
使用して、設定温度を  
「強」から「中」にすると…  
(3畳用の場合)  
年間 約76kgCO<sub>2</sub>削減  
年間 約4,100円節約

**冬でも扇風機。**  
暖房やヒーターなど1カ所に滞りやすい暖気を、扇風機で部屋中へ拡散させることで、部屋の隅々までぽかぽかに。

カーテンを二重にして  
扇風機で部屋の空気を  
循環させることで、エアコンの  
暖房温度設定を21℃から  
20℃にすると…  
年間 約22kgCO<sub>2</sub>削減  
年間 約1,200円節約

# 我が家を一番あったかく。



ちょっとした一工夫で、家の中の暖気が外に逃げていくのを防ぐことができます。  
寒い日には、家の中でエコロジーを楽しみながら、快適に冬を過ごしましょう。

**アロマで加湿。**  
乾燥した寒い夜は湿度調整が大切。コップ1杯の水を枕元に置くだけでもOK。アロマオイルを数滴垂らし、心地よい眠り。



**体感温度**  
湿度を15%上げれば  
室温を1度下げても  
変わらない



**足湯で保温十リラックス。**  
服を着たまま温泉気分。血管が拡張して血流が盛んになり、代謝が活発に。冷え性や足のむくみが解消できる。



**入浴剤を選ぶ。**  
いつものバスタイムは、お気に入りの入浴剤を入れてゆったりと浴槽に浸かる。体がしっかりと温まり、心もリラックス。

エコツーリズムとは、地域の自然と文化を知り、守り、受け継ぐことを目指した新しい観光スタイルのことです。

岡山発

エコツーリズム  
ecotourism



年間250万人が訪れる県内屈指の観光地、蒜山高原。

冬になると広々とした高原は白く雪化粧をし、美しい自然の懐の深さを体感することができます。

**体験 report**

**「大山みちトレッキングツアー」**

旧湯原町の鳥居ヶ崎から旧川上村の大王松までの約9kmの道のりを歩きながら、蒜山の歴史や自然に触れ合う体験型ツアー（春・秋開催）。ガイドと一緒にスポットを巡ります。

**冬の蒜山を探險し、偶然の発見を楽しむ**

ここ蒜山では、積雪のある3月頃まで、蒜山高原センター周辺をスノーシューで歩くツアーを楽しむことができる。雪上の動物の足跡や木の冬芽を探したりなど、一味違った冬の蒜山を満喫できる。これらのツアーを実施しているのは、蒜山ガイドクラブ。ツアーの収益は、歩道整備や湿地の再生のために還元し、蒜山の自然保護・保全に努めている。良質な白銀の雪を踏みしめ、素直な心で蒜山の豊かな表情を楽しみ、自然に還る気持ちで蒜山を探險してみては？

**冬の蒜山の雪を堪能するスノーシューを楽しんで下さい。**

**蒜山ガイドクラブ**

【お問い合わせ】  
蒜山観光協会内 蒜山ガイドクラブ  
岡山県真庭市蒜山富山根303-1  
TEL.0867-66-3220  
メール.eco@shok.co.jp

**蒜山のふみつ  
山田 信光さん**

●車  
米子自動車道 蒜山IC下車、休憩村 蒜山高原へ約5分  
●電気＆バス  
JR伯備線根雨駅または日本交通高速バス  
江府インターチェンジより、休憩村送迎バス（要予約  
0867-66-2501）で約40分。

**延助宿**  
  
のふみづけのゆく  
旭街道沿いに栄えた宿場。市の繁栄を祈念する市様の祠もある。

**童王ヶ池跡**  
  
とりいがたわ  
(大山選擇所)  
旭川の源流である童王ヶ池跡。小屋には水の恵みに感謝し建てられた川上地蔵がある。

**大王松**  
  
キノコ  
発見!  
石の大鳥居  
  
かつて大山みちの印だつた赤松の大木。明神型の石の鳥居としては日本最大級。茅部神社まで長い参道が続く。



岡山県環境保全事業団・仕事file

水の健康を的確にチェック!

## 分析測定課

私たちの暮らしに最も身近な存在、「水」。汚れの状況をきちんと調査したデータが、私たちの生活を守るために反映されます。

環境調査部分析測定課は、水質をはじめ、大気・土壤・廃棄物などを調査分析する部門です。

**Q 「環境調査部 分析測定課」では、どのような仕事をしているのですか？**

岡山県内の川、海やダム、企業からの依頼があれば指定のポイントへ行って水をサンプリングし、調査分析を行っています。

環境調査部分析測定課では、県内の川や海、ダム、企業依頼のあったポイントでの水質調査を行い、環境基準や排水基準などの数値と比較して、そのデータを県や市、企業へ提供しています。

**Q 仕事をする中で印象に残っていることは何ですか？**

**A** ダムで水質調査をした時、ダムの真ん中で船のエンジンが故障してしまったことがあります。2月の寒い時期、とあるダムに水質調査に出掛けた時のことで。調査に行く前から不調だった船のエンジンが、ダムの真ん中で故障！調査は無事に終わっていましたが、積んであった木箱の蓋を急ぎよオール代わりに、岸まで漕いで戻りました。その時、乗船員は船頭さん含めて4人。力を合わせてなんとか岸まで辿り着きました。

**Q 水質調査によると、岡山県の水はどうな状態なのですか？**

**A** 直ちに健康に影響が出るという危険な水域はありませんが、数値的には環境基準値を超している地点もあります。

長期間的な視点から見れば大きな変動はないものの、県内の水域では、生活環境を守

るための環境基準値を超えている場合もあります。しかし、時期や天候によって結果は違ってくるので、年数をかけて調べることが重要です。

水質汚染は工場や家庭排水、残留農薬など、様々な要因が考えられるため、一つの汚染源をしぼりきることはできません。ただ、工場では排水基準がしっかりと定められており、数値を超えていれば行政処分や、何らかの処理対策を考えることができますが、家庭や農業分野にはそういった確かな数値基準が定められていません。そういう点においては家庭排水からの汚染を減らしていく方が難しいと言えるでしょう。

一方では、県北などの上流域には綺麗な水源が残されているので、私たちはその美しい水をどうやって守り、大切にしていくかも考えていく必要があるのでないでしょうか。

**Q 環境を守っていくために、私たちが心掛けるべきことは、どのようなことですか？**

**A** まずは身近な海や川の状態について、ちょっとだけ意識を向けてみてください。そして、自分たちの生活にどれだけ水が関わっているかを考えてみることから、すべては始まります。

汚染物質は工場から排出されているものが一番多いと思われがちですが、実際は家庭排水が一番大きな要因となっています。私たちの生活は身近な水と深くかかわっており、毎日飲む水道水は川などの水を元にしています。また、夏になれば海や川へ遊

びに行きます。それらの水が汚れていると、私たちは快適に生活することができなくなったり、それを改善するためには、多くの手間と時間がかかります。まずは近くの川や海がどういう状態にあるか、県のHPなどを見て、周辺の水のプロファイルを知り、少し身近に感じてみてください。

**環境調査部分析測定課からのメッセージ**

たとえば、スプーン1杯のマヨネーズで汚れた水の浄化には、浴槽13杯分の水が必要である。生き物がいる方が難しいと言えるでしょう。

一方では、県北などの上流域には綺麗な水源が残されているので、私たちはその美しい水をどうやって守り、大切にしていくかも考えていく必要があるのでないでしょうか。

花の水やりに使う、風呂水での洗濯など、捨てる水を生活の中で再利用が必要となります。米のとき汁を汚すよりもはるかに莫大なエネルギーが必要となります。花の水やりに使う、風呂水での洗濯など、捨てる水を生活の中で再利用できかないかを考えて、日常生活でできることを心掛けてください。知ることで行動への第一歩。水の身近さ、大切さを知ったなら、ちょっととした行動も簡単なはずです。



藤川 裕香さん  
川へ、池へ、ダムへ、海へ。岡山県内の水の健康を調べに、バケツや柄杓を手に出掛けています!

# 教えて! 推進員

温暖化防止活動推進員の方に、私たちの生活を取り巻く岡山の環境や、その問題を紹介していただきます。



浅口市在住  
鍋谷 和彦さん

## “もったいない”を暮らしに広めよう

使い捨て社会の便利さに慣れ、ゴミを増やし続けている私たち。

今こそ、ものを大切にする気持ちを取り戻すことが必要です。



2007年11月にコンベックス岡山で開催された「エコフェスタ2007」での展示。来場者にできる限りゴミを出さない暮らしを呼びかけた。

# 古き良きエコのはなし vol. 4 風呂敷

江戸時代から使われている、便利な暮らしの布・風呂敷。

今回は風呂敷に関する知恵をひもときます。



見るような江戸時代の行商人が商品を包むのに使っていた印象が強い。したがって、「古い」「昔の人を使つもの」というイメージを抱きがちではないだろうか。しかし最近では、風呂敷の「包んで持ち運ぶ」といった本来の機能に加えて、インテリアやファッショントレンドが上がりつつある。何度も使えてレジ袋・紙袋の削減にもつながることから、環境省でも風呂敷のPRを進めている。

風呂敷は、私たちが普段使っているようなカバンに比べ、包むものの大小・形状にとらわれず、変幻自在に包むことができる。また、包むものがなければ畳んでかなり小さくすることができます。ここに興味深いデータがある。ポリエチレンのレジ袋1枚を作るのに、だいたい16m<sup>2</sup>～18m<sup>2</sup>の原油が必要といわれている。しかし、この製造時にすでにCO<sub>2</sub>が30g排出され、使用したレジ袋の焼却時には30gが排出されている。

レジ袋の使用枚数は年間約300

※参考データ (財)省エネルギーセンターHP

5 bとdを後ろで交差させて前に回し、結び目の下で真結びします。

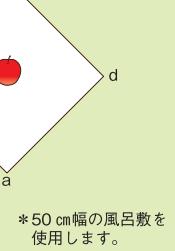
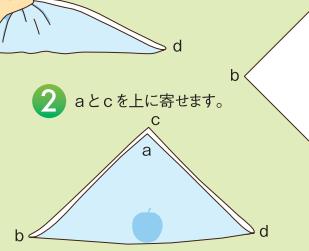
3 aとcをりんごのすぐ上で束ねます。

4 aとcを一つ結び、結び目をうさぎの顔に見立てて、aとcが耳になる形を整えます。

1 風呂敷の裏を出して広げ、中央にりんごを置きます。

2 aとcを上に寄せます。

【うさぎ包み】  
りんごを包んで手みやげに。



\*50cm幅の風呂敷を使用します。



子どもの頃、買い物かごを持つおつかいに行き、丼を抱えて豆腐を買いに走った経験を持つ鍋谷さんは、エコライフは決して難しいことではないと言う。「本当の『豊かな暮らし』とは、捨てるほどものがあることではなく、ものを大事にする気持ちから生まれてくるのではないか」と。

**地球の住人の一人として**  
鍋谷さんは定年退職後、校務員として勤める小学校や地元の敬老会で、講演を行っている。「温暖化は、子どもからお年寄りまで、地球上もみんなが一丸となって止めなくては。今後も、地域の人たちにこの現状を伝え、すぐに始める省エネの工夫を紹介していきたいですね」。自身が欠かさず参加している研修会やイベントで得た情報と体験を伝えることで、もったいない精神とエコライフの実践を地域に浸透させようと、意欲を燃やす鍋谷さんだ。

子どもの頃、買い物かごを持つおつかいに行き、丼を抱えて豆腐を買いに走った経験を持つ鍋谷さんは、エコライフは決して難しいことではないと言う。「本当の『豊かな暮らし』とは、捨てるほどものがあることではなく、ものを大事にする気持ちから生まれてくるのではないか」と。

## NEXT STEP —私の街のエコ—

私たちのまちのエコな事業所を紹介するコーナー。さて、今回紹介する事業所は、どんな取り組みを行っているのでしょうか？



エコウェーブおかやま 岡山大豆俱楽部  
育てる・食べる楽しみを知つもらうため、総社市清音にて大豆収穫体験を実施。実際に自分で作った大豆の美味しさを知ることで、一人でも多くの人に「地産地消」の大切さ、日本の食のあり方を考えもらう活動を展開している。

〒701-0111 岡山県倉敷市上東622-20  
TEL&FAX 086-462-0259

日本国内の農作物全体の自給率は約40%（カロリーベース）であり、中でも大豆自給率はわずか5%（2006年）しかなく、かつて日本で栽培・加工・消費していた大豆食品を再び地域に結びつくものにしていきたいとの思いから設立された「岡山大豆俱楽部」。生産者と消費者の間に「顔の見える関係を構築すること」、地産地消の大切さを体感する、大豆収穫体験活動を実施



収穫した大豆を使って製造した味噌。  
県内の自然食品のお店などで販売し、完売。今年度分も製造予定。



作りをすることで、食を身近に感じ、また、輸送エネルギーの削減について実感することができる。それによって、地産地消、日本の食のあり方を見直し、日本の農地活用についても考えるきっかけになればと活動している。